

2023

世界に希望を生み出そう



7月25日(第4火) No.1650 例会

《クラブアッセンブリー》決算報告(会計下田一則)
予 算 案(会計水野隆志)

本日の行事

《臨時総会》《暑気払い》
名古屋城北RC就任ご挨拶

6月ロータリーレート1ドル=140円
7月ロータリーレート1ドル=145円

例 会

1. 点鐘
2. ロータリーソング…「手に手つないで」
3. ゲスト紹介 名古屋城北RC
4. 会長 山田恭敬様 幹事 奥村一憲様 親睦活動委員長 碓谷将紀様
5. 米山功労クラブ表彰(前年度)
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. ニコニコBOX及びロータリー財団、米山記念奨学会
10. 委員会報告
11. 本日の行事《総会&クラブアッセンブリー》
12. 点鐘
13. 納涼懇親会

担当=プログラム委員会
場所=「仁科」
点鐘=18:30

お知らせ

- ① [国際ロータリー日本事務局経理室] ……ロータリークラブの請求通知(半期報告)
- ② [(公財)ロータリー米山記念奨学会] ……第23回米山功労クラブ表彰
- ③ [折井正明ガバナー事務所] ……地区役員・委員住所録(7冊)
- ④ [地区青少年育成基金委員会] ……下伊那グループラグビー支援予算60,000円→48,000円
- ⑤ [下伊那グループガバナー補佐] ……第2回会長・幹事会開催のご案内7/24「仁科」
- ⑥ [ガバナー・RLI委員長] ……2023-2024年度RLI参加のお願い(後藤会員出向)
- ⑦ [名古屋城北RC] ……9/12(火)秋の家族会のご案内名古屋城BBQパークにて14:00名古屋城正門前集合
- ⑧ [下農IAC顧問森本先生] ……今年度独自研修申請書再送(志賀高原SDGs STUDYTOUR)
- ⑨ [飯田南RC] ……「第58年度クラブ計画書」送付について…PDFにて送付

◇例会変更・特別休会は後ページ

◇令和5年(2023)8月例会

1. 8/1 特別休会
2. 8/8 1651 ガバナー補佐事前訪問 下伊那グループガバナー補佐市瀬光一様 担当=会長・幹事
3. 8/22 1652 ガバナー公式訪問 折井正明様
4. 8/29 1653 会員増強検討会 担当=会員増強委員会

— Menu —
仁科メニュー



◇会長挨拶

皆様はご存じの事ですが、自分自身の認識の再確認のために今月はロータリーの事で自分で疑問に思ったことを話したいと思います。

今日のテーマは卓話です。

ロータリーでは、例会後半の約30分間に、クラブ会員や外部の招待講師から話を聴くことを卓話と呼んでいます。会員卓話では、ロータリーに関する話はもちろん、自己の職業を通してどのように社会へ貢献しているか、どのように事業の発展継続に取り組んでいるか、そのためにどのような職員教育をしているかなどが、好ましい内容とされています。

また、ゲスト卓話では、ビジネスや社会の動向、科学・教育・文化の話など、会員の知識や教養を高め、情操を豊かにし、かつ「ロータリーの目的」の推進達成に繋がる内容が好ましいと言えるでしょう。ただ、外部の講師を招くのではなく、むしろクラブ会員にこそ卓話の機会を十分に与えることです。クラブ会員は一人一人が業界の代表者であり、豊富な知識や経験を持っています。例えば、「我が職業とロータリーを語る」などは、最適な会員スピーチでしょう。

会員同士の情報や意見の交換を通じて、互いの親睦や敬愛の念を深め合い、研鑽と奉仕の心を高め合いながら、価値ある奉仕の実践に繋げていくことが、まさにロータリーの伝統であり、真髓だということを大切にしていこうではありませんか。

なお、外部講師に対しては、R Iの現または元役員、他クラブのロータリアンの場合は、例会を担当するクラブが相応の費用を負担することになっています。(1998年6月R I理事会決定348号)

◇幹事報告

1. 前年度、5月に青葉例会を開催し、アジサイを植樹しました。前回は6月4日の写真を見て頂きましたが、それから一か月今月の4日の写真を掲載しました。写真は伍福園の星野さんが撮影したものです。雑草を役場の方が刈り取って下さったそうです。
2. 次回の例会は夜間例会となり、場所は「仁科」さんです。内容は2022-2023年度決算報告、2023-2024年度予算案承認の件です。その後、今年度のスタートと言うことで懇親会を行う予定です。各自費用は掛かりますが、ぜひご出席ください。後日事務局より案内を送付致します。
3. 本日、例会後理事会を開催致します。ご出席をお願い致します。

▲出席報告▲

みんなの卓話 (後藤、小林、近藤)							前々例会 (2023.6.27) 最終例会				
会員総数	免除外欠席者	免除欠席者	欠席者合計	総数-欠席者	出席計算数	全会員数-欠席免除者数	出席率	計算数	員正欠会	クメ数後1	出席率
14	2	2	4	10	12	12	83.33	15	1	14	93.30

[欠席者] (1/12名) (今井卓郎君 2023年6月末退会)

[出免欠席者] (0/3名)

ニコニコBOX合計 15,000 累計 45,000円 (目標額 560,000円)

ロータリー財団BOX合 1,000円 累計 6,000円 目標額 264,000円

米山記念奨学会BOX合計 4,000円 累計 9,000円 (目標額 280,000円)

ポリオ合計 0円。累計 0円 (目標額)

ロータリー平和センター合計 0円 累計 0円 (目標額)

▲例会変更と休会の案内▲

RC	日にち	曜日	理由	マーク
天竜川 RC	8/3	木	休会	—
飯田 RC	8/9	水	休会	—
飯田南 RC	8/11	金	休会	—
飯田 RC	8/16	水	休会	—
天竜川 RC	8/17	木	休会	—
飯田南 RC	8/18	金	納涼家族例会 コリズム	シルクホテル 12:30～13:30
飯田 RC	8/23	水	納涼例会 ビーラクスマツカワ	シルクホテル
天竜川 RC	8/31	木	休会	—

【野生型ポリオウイルスによる症例数（財団室 NEWS2023 年 6 月号より）】

	2023 年 1/1～6/20	2022	2021	2020	2019
パキスタン（常在国）	10→12→20→0→1→1	20	1	84	147
アフガニスタン（常在国）	1→2→0→2→5	2	4	56	29
マラウイ（非常在国）	0→0→0	0	1	0	0
モザンビーク（非常在国）	1→7→8→0→0→0	8	0	0	0
世界合計	12→29→30→3→6	30	6	140	176

◇ニコニコBOX

飯田ローターアクトクラブ

会長 榎原唯志様 幹事 松村宗一郎様

：新入会員が 1 名入り、7 名での活動をスタートしました。
本年度もよろしくお願ひ致します。

◇ニコニコBOX

——〔飯田東 RC〕——

近藤克彦君：今年度、2 回目の例会です。まだまだダメ会長ですが、会長挨拶と久保田さんの代わりの卓話と、ロータリーの話になってしまいます。

津野和広君：お疲れ様です。飯田ローターアクトクラブ会長榎原様、幹事松村様、ようこそ飯田東ロータリークラブへ。

宮嶋逸雄君：暑くなりました。熱中症に注意しましょう。

小林義尚君：九州の豪雨災害、大変です。テレビでは酷い所を誇張して放送しますが、起きた所はどこも 100 年に一度の災害と言われる所だと思います。お悔み申し上げます。

宮嶋徹君：飯田ローターアクト榎原会長、松村幹事を歓迎して。

田中淳君：九州では大雨の被害で毎年大変です。

水野隆志君：梅雨の終わる時期は毎年大荒れですね。九州はかわいそうです。

みんなの卓話、後藤会員、小林会員、近藤会員！楽しみにしております。

菜花義一君：毎日曜日は☘草取りの日☘と決めています。雨降りの時は土が柔らかくてとても取りやすいです。小さなものでも根からすっぱり抜けるのでしばらく生えて来ません。草かきで根を切ってしまうとすぐに生えてきますので要注意です。

中澤みどりさん：飯田ローターアクトクラブ榎原会長、松村幹事、飯田東 RC へようこそ。

みんなの卓話、よろしくお願ひ致します。

◇ロータリー財団BOX

菜花義一君：暑い日が続いています。何時熱中症になってもおかしくない湿度の高さです。室内に居るときは除湿をかけておくと冷房よりも気持ちが良いですよ。

◇米山記念奨学会BOX

近藤克彦君：先日、第2600地区の職業奉仕委員会に代理出席して来ましたが、いろいろな意見が聞けて貴重な体験でした。

菜花義一君：塩野義製薬では50歳以上の社員200人の退職者を出す計画ですが、我々は人手不足で慢性化しています。IT化、合理化を図っても最低限の人は必要なのですが、なかなか必要と思われる人が居ません。年齢問わず誰かいないでしょうか？

◇委員会報告



◇本日の行事《みんなの卓話》

片桐信親君→後藤高一君卓話

本の紹介

吉川博満著 「理不尽な進化」 ちくま文庫 450P

興味を持った理由

理不尽 と 進化 の言葉としての対比の面白さ

理不尽：道理に合わない事 進化：科学用語、理論的な言葉

副題 遺伝子と運のあいだ

進化という言葉から連想「進化論」 進化論にも大いに関係のある

チャールズ・ダーウィン

まえがき

「理不尽な進化」ちょっと変なタイトルかもしれない。進化が理不尽であるという事は、どういう意味であろうか？

私たちはふつう、生物の進化を生き残りの観点からみている。進化論は、競争を勝ち抜いて生存と繁殖に成功する者、すなわち適者の条件を問う。そうする事で、生き物たちがどのように姿形や行動を変化させてきたかを説明する。そこで描かれる生物の歴史は紆余曲折はあれど、サクセスストーリーの歴史だ。

しかし、本書は、それとは逆に、絶滅という観点から生物の歴史をとらえかえしてみようと提案する。敗者の側から見た失敗の歴史、日の当たらない裏街道の歴史を覗いてみるのである。

個人的 進化論強い興味。一般社会人のサクセスストーリーより敗者の物語が好き。マイナー志向的要素。

(興味深い話)

地球の生物の歴史

現在地球上の生物の種類：推定 500万種～5,000万種類

生物誕生から現在までの生物の種類：推定値 50億～500億種類

今生きている種は、全体の1000分の1、99.9%は、既に絶滅している。驚異的な生存率の低さ、気持ちいいほどの皆殺し状態➡ この事実には驚かされる、絶滅は必然

絶滅のシナリオ

デヴィット・ラуб アメリカの古生物学者の言葉

ほとんどの種は、運が悪いせいで絶滅するのではないかと考えている。

それまでの進化の過程では予想もつかなかった、生物的・物理的ストレス



にさらされ、しかもダーウィンの自然淘汰が適応を準備する時間的余裕もないせいで、種は死滅するのだ。遺伝子よりも運が悪いのだ！

➡ 長い年月環境に適応した種が生き残り、適応出来なかった種は滅びる
という何となく感覚 ➡ その要素より運の良し悪しが重要！！

恐竜の絶滅

6500万年前白亜紀 大きな天体衝突によって絶滅一瞬ではなく、衝突で巻き上げられた大量の塵が大気中にとどまり太陽光が遮断された状態が、数年続いた。

光合成出来ず植物が死滅➡装飾恐竜が死滅➡肉食恐竜が死滅

地球の温度も10度以上下がった。

それまでの環境によりよく適応していた生物が、生き残りやすい という訳ではないという訳ではないような絶滅=理不尽な絶滅

進化という言葉への誤解

進化=だんだん良くなっていくイメージ、

生物学的 進化=生物の形質が世代を経る中で変化していく現象の事

日常の中では、良い方向で使う事が多い 進歩、

例：彼の腕前は進化した 進化の反対語は、退化でなく無変化

結構内容は濃くて、全部理解していない。結構なマニアックさ、専門性有している。興味ある方は一読下さい。

解説 養老孟司

進化論のおもしろさはどこにあるのか？

科学者たちの論争を整理し、俗説を反転させ、進化論の核心を示す傑作。

近年ここまでよくできた思想史を読んだ覚えがない。

木下裕亮君→小林義尚君卓話

最近円安で輸入製品の価格が上がっていますが、ワイン業界ではブルゴーニュワインの値上がりが進んでいます。一方ボルドーワインについて、思いの外上がっていません。それには、ブルゴーニュワインの受給バランスがあります。まず、ボルドーとブルゴーニュでは生産の規模が違います。ボルドーはブルゴーニュの2.5倍強の「広さ」と「量」を誇ります。それぞれ数字でみてみましょう。栽培面積はボルドー11万ヘクタール東京都の1.5倍。千葉県全体程。一方ブルゴーニュ4.6万ヘクタール。ボルドーの4割程度です。また高価格帯のブルゴーニュ特級畑は550ha（30の畑2%）1級畑3326ha（42の畑14%）。

ボルドーワインとブルゴーニュワインの違いは、以下の通りです。

- 1.ボルドーワインは複数のブドウの品種をブレンドして作られ、赤ワインが有名です。一方、ブルゴーニュワインは単一のブドウの品種で作られます。
 - 2.ボルドーワインはいかり肩、ブルゴーニュワインはなで肩の瓶形をしています。
 - 3.ボルドーワインは濃い色合いであり、ブルゴーニュワインは薄い色合いをしています。
- 好みはありますが、ボルドーワインは、まだまだ値頃で美味しいワインが沢山ありますのでお楽しみください。

さて最近新しいジャンルのワインがオレンジワインです。オレンジワインとは、白ブドウを使って赤ワインのように造ったオレンジ色のワインです。白ブドウを果皮ごと醸造することによって、果皮の香りや色が抽出され、鮮やかなオレンジがかった液色となるのが特長です。オレンジワインは、白ワイン、赤ワイン、ロゼワインに続く第4のカテゴリーとして認知されています。もともとはジョージアで造られていたオレンジワインの起源は、約8000年前にまでさかのぼります。ヨーロッパとアジアの境に位置する国、ジョージアにおいてカメの中で白ブドウを発酵させ、オレンジワインを造っていたことがはじまりです。

オレンジワインは長い歴史の中で国際市場に出る機会に恵まれないうまま、一時期は歴史から姿を消していましたが、1990年代後半、自然派ワインの造り手が独特の製造法に着目したことをきっかけに世界中へ名が知れ渡ることとなりました。クヴェヴリと言う卵型をした大きな「かめ」を地中に

埋めて醸造することで安定した温度の中でワインを発酵させることができます。このワイン製法は、2013年にユネスコの無形文化遺産に指定されました。果皮や種を取り除いて実を破碎する白ワインには、赤ワインのように酸化防止剤の役割を担うタンニンがほとんど含まれていません。そのため品質を守るために酸化防止剤（亜硫酸）を多く取り入れる必要がありました。しかしオレンジワインの製法なら果皮に含まれるタンニンが果汁に含まれるため、亜硫酸の添加を抑えたままでワイン造りが可能です。1998年に最初のオレンジワインが造られてから瞬く間に世界へ広がり、現在は本場ジョージアをはじめイタリアやオーストラリア、日本などでも造られるようになりました。オレンジワインの醸造に使用されるブドウ品種は、香りの成分が高いアロマティックなものが中心です。例えば以下の品種があげられます。・リースリング種・ヴィオニエ種・ゲヴェルツトラミネール種など、他にもさまざまな品種が各国で使用されています。また、酸味が強いピノ・グリ種などもオレンジワインの定番といえる品種です。アロマティックな品種が使用される理由は、果皮ごと発酵させることで香り成分が多く含まれるオレンジワインの特性を最大限に引き出すためです。そのため、さらに香り成分を抽出するための醸し発酵も行われます。製法の過程上、オレンジワインはどうしても酸味が落ちてしまうものです。酸味の強い品種は、弱まってしまう酸味を補うために使用されます。オレンジワインの味わいは、白ワインと赤ワイン両方の魅力を楽しめるものです。白桃やアプリコットなど甘くて濃厚な果実味をもちつつも、赤ワインのように果皮由来の渋味とコクもしっかりと感じられます。オレンジピール、はちみつ等のニュアンスももっており、他の白ワインや赤ワインとはまったく異なる表情を見せてくれるワインです。ぜひ一度、オレンジワインに楽しんでください。

久保田和彦君→近藤克彦君卓話

昨年は久保田ガバナー補佐のもとで補佐幹事を務めさせていただき2600地区のガバナーと話す機会が多く親睦についてよく話が出ていました。そこで親睦とは何か改めて見直そうと思いました。これは予定表にも関係し改めて考えさせられました。

「ロータリーの親睦（fellowship）」を理解するには、

- “acquaintance アクエイタンス” = 「知り合い程度の交友」
- “friendship” = 「親しい者同士の友情」（目的や理念には関係なく、親しい友人の間柄で使われる言葉）
- “fellowship” = 「志が同じ者同士の仲間意識」

の3つの言葉がキーになると思います。

ロータリークラブは「同じ目的と理念を持つ組織」である以上、その会員であるロータリアン同士の間柄は、“acquaintance”や“friendship”ではなく、“fellowship”であることは明白です。すなわち、「ロータリーの親睦（fellowship）とは、単なる友情ではなく、志を共にする者同士の仲間意識」との事です。

1923-1924年度のR I 会長 は、「ロータリーの親睦」とは“ロータリーという苗木が成長するために、その根に栄養を与えてくれる土壌である”と述べています。これは、“ロータリーという苗木が立派に成長していくためには、「志を共にする者同士の仲間意識」を強め高め合う『親睦』という栄養に満ちた土壌が必要である。”というように理解すればよいでしょう。

言い換えれば、

ロータリーに入会し、「acquaintance」が「friendship」で繋がり、やがて「fellowship」となり、互いに語り合い、切磋琢磨し、協力しながら、ロータリーの理想達成を目指す仲間意識を強め高め合うことが「ロータリーの親睦」であるということです。

苗木は土壌が悪ければ十分に育ちませんが、土壌が良ければ立派に成長します。したがって、ロータリーという苗木の成長・発展は、“ロータリーの親睦”という土壌にかかっていると言えます。こうした考え方がロータリーに浸透していったからこそ、「ロータリーは、親睦こそが第一」とか「親睦なくして奉仕なし」とかの言葉が使われます。

但し、会員同士の親睦を重要視するあまり、「ロータリーの良き親睦こそが、ロータリーの全てである」というような言葉を聞くことがありますが、この考えは間違いみたいです。ロータリーで

は、「親睦」は必要で重要ですが、目的ではないし、全てでもありません。

1947-1948年度のR I 会長は、ロータリーの本質とも言うべき「Enter to learn, Go forth to serve」という言葉を残しました。

この考え方を当てはめれば、ロータリアンが情報や経験を語り合い、好意と友情を深め合い、自己改善を図り、奉仕の心を育て高め合う例会が「親睦という名の土壌」だということです。そして、例会で高められた奉仕の心で、各々の家庭、職場、地域社会において、より良い奉仕の実践に努めるロータリアンが増えていくこと。それが、「ロータリーという苗木の成長」なのです。

だからこそ、ロータリーは「①ロータリアン同士の親睦を基盤に、②立派なロータリアンを育てながら、③価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体」なのです。

しばしば、「親睦と奉仕は、ロータリーの車の両輪である」という言葉を耳にしますが、「親睦」は、あくまでロータリーの土壌であり、基盤だからです。

「ロータリーの志を共にする仲間意識を強め高め合う親睦こそ、ロータリーの基盤である」という考え方を、我々は改めて銘記するべきでしょう。

ロータリーでは、食事がつきものです。時には、酒宴の席もあるでしょう。食事や酒宴だけなら“friendship”の間柄でも構いませんが、それが“fellowship”を築き深め合うものでなければ、「fellowship」とは言えません。

あくまで、ロータリーの成長・発展、ロータリーの理想達成の繋がるものでなければならないということです。

よく耳にする言葉に、

「楽しいだけがロータリーではない。しかし、楽しくなければロータリーではない。」

というのがあります。もちろん、私も同感です。個人的には、

「楽しいだけなら“friendship”だが、“friendship”だけではロータリーではない。

ロータリーは、“friendship”を超えた“fellowship”だからこそ、本当に楽しいのだ。」

という理解をしています。

この飯田東に入会してよかったと思うのは、派閥というしがらみがなく意見が言えるクラブだと思っています。

〔地区関係〕

○R L I…パート I 2023.9.3 パート II 2023.11.19 パート III 2024.1.28 卒業コース 2024.3.31

○7/8 (土) 職業奉仕委員会 (全体会) 会議 15:00～ 懇親会 18:00～ 松本商工会館
近藤克彦会長出席済

○7/16 地区インターアクト第 2 回 IA 委員会リアルと WEB にて開催

◇下伊那農業高等学校 IAC 封書

独自研修 (予定) 9 月上旬 一泊二日 志賀高原×SDGs STUDY TOUR
(地区へは申請書送付済)

〔下伊那グループ〕

【2023-2024 年度下伊那グループ】下伊那グループガバナー補佐市瀬光一様、幹事佐々木和人様

・ 7/10 (月) 地元報道機関との懇談会 (懇親会) ビーラクスマツカワにて

18:00～会長・幹事会 18:30 地元報道機関との懇談会 19:00～懇親会

〔出席〕近藤克彦、津野和広、小林義尚

・ 7/24 (月) 第 2 回会長幹事会開催 18:30～「仁科」会費 6,000 円 (ラグビー支援について)

○下伊那グループ

7/4 (火) 12:30 点鐘 ガバナー補佐・幹事就任ご挨拶

8 / 8 (火) 11:45~12:10 ガバナー補佐事前訪問 会長・幹事懇談会
○ガバナー公式訪問 第2600地区ガバナー折井正明様(松本RC)
8 / 22 (月) 11:30~12:20 会長、幹事懇談会
12:30 点鐘
13:00~ガバナーご挨拶

〔その他〕

＜2023-2024年度ロータリー財団地区補助金 老人ホーム支援事業＞植樹林を使つてのベンチ製作



[今年度新盆について]

《飯田東RC 宮嶋徹会員ご尊父様》
2022年7月7日 ご逝去

《飯田東RC 木下裕亮会員ご尊父様》
2023年4月15日 ご逝去

